

沖縄・デニー知事トークキャラバン in 札幌 基地問題を「自分ごと」として 「首里城」再建カンパの訴えも

11月19日、札幌で玉城デニー沖縄県知事の「トークキャラバン」が開かれ、1,300人が会場を埋めました。デニー知事は「基地問題を他人事ではなく『自分ごと』として考えてほしい」と熱く訴えました。辺野古の新基地建設は、沖縄の米軍基地の過重な負担を解決するものではなく、普天間基地の早期返還にもつながらず、貴重な自然を破壊するものであり、県民の示した民意に反します。デニー知事は「北海道にオスプレイが来るという報道があったが、国内法が適用されない地位協定のもとで事故がおきたらどうなるかを考えてほしい」と強調しました。

会場では、10月31日に焼失した那覇の「首里城」再建のためのカンパも訴えられ、60万円余りが寄せられました。

札幌ダンプ支部が大会

札幌ダンプ支部は11月17日に第34回定期大会を開きました。前日からの降雪で参加できなくなった組合員などがいましたが、昨年の大会を上回る参加となりました。道本部の森国委員長が、安倍首相が私物化した「桜を見る会」の問題をはじめとした現在の情勢について触れながら、ダンプ労働者の生活に大きく関わるインボイス制度を撤回させるためにも、安倍政権を倒すことが必要だとあいさつしました。

議案では、使用促進運動の進捗状況等が報告されたほか、組合の労災や共済加入などのメリット活かした組織拡大について提案され、全会一致で採択されました。また、消費税増税に伴うインボイス制度の導入についての説明があり、まずは受注先とダンプ労働者との間で登録事業者になるか否かの意思確認を行う必要があることが話されました。

大会では、田家司委員長など新年度役員を選出し、大会終了後の交流会で参加者が団結を深めました。

函館運送支部が燃料手当受結

函館・本採用・世帯主で128,000円/60歳以上の嘱託にも支給

函館運送支部は10月24日に、2019年の燃料手当について受結しました。受結額は、「昨年よりいくぶん灯油価格が安くなっている。価格に見合った金額」（会社）として、函館・本採用・世帯主については128,000円（前年比-2,000円）となり、準世帯主が85,340円（同-1,330円）、独身42,670円（同-670円）、札幌・本採用・世帯主142,140円（同-2,320円）などです。60歳以上の再雇用者（嘱託）についても、函館・世帯主42,670円などが支給されます。

燃料手当・寒冷地手当と年末一時金闘争の報告を

各職場組織（支部・分会）の燃料手当・寒冷地手当闘争と年末一時金闘争の報告（要求内容・要求提出日/回答内容・回答日/妥結内容・妥結日）をお願いします。